

【高校生の部】

人道大賞

私が友達と笑っていたとき
たくさんの「一人」は死んでいった
可児高一年 安江葵

愛賞

戦争の全てを知らずに生きている
私は祈りの姿を真似る
茨城県 下館第一高三年 増淵絵理

ホイッスル聞いた瞬間先生の
流した涙で気がついた愛

愛知県 瀬戸高三年 鈴木歩未

心賞

曾祖父と戦争について話してた
手に持ったアイスを忘れたまま

可児高一年 三浦和也

助けただけでたたくさんの
命の糸をつないでいった

八百津高一年 岩井沙織

勇気賞

道端に咲く一輪の花にでも
目を向けられる平和なせかい

可児高一年 増田啓介

教科書の無機質な数字「二〇〇万」
命の上に九条は立つ

愛知県 瀬戸高一年 宇田川春介

佳作

百年後学ばれている世界史の
戦争の数よ増えないように

可児高二年 加藤雄一

どんな時も「ただいま」と帰る場所がある
だから私は明日もがんばる

可児高一年 宮谷友香栗

今の僕戦争について無関心
それは一種の罪ではないか

可児高一年 今瀬太陽

お母さん大好きだから言わないで
産まなきゃよかった一番きずつく

愛知県 瀬戸高一年 八木杏菜

手の平にある百円で考えてみる
うーんやっぱりジュースがみたい

可児高一年 山本剛志

【一般の部】

人道大賞

夏風のやうな千畝のビザの文字
小さき力が胸に広がる
兵庫県神戸市 松下弘美

愛賞

「強制」につづく熟語の多かりき
人とは人の支配望むか
愛知県豊橋市 齋藤とし子

こだはりし君の国籍遠き日の
つたなき恋を今にし思ふ

美濃加茂市 大畑肇子

心賞

宇宙より臨む地球は冴え冴えと
青き平和の光を放つ

千葉県市川市 小田中準一

軍靴らしきで闊歩なしいる誇らかな
若さ怖るる次代おそるる

岐阜市 赤塚鮎子

勇気賞

「どんな子もみな先生の生徒です」
どんなって何どんなって何

大阪府大阪市 船戸育代

隣国に走る緊張ひたひたと
稲穂の畝のまぶしさ思いて

三重県桑名市長谷川三希子

佳作

雨の野に忘れ去られし足のない
鎌を思へり千畝を思ふ

新潟県佐渡市 弾正俊一

麻痺の子が教師になりて幾年か
世界平和を皆に教える

愛知県大山市 岡部晴雄

明けきらぬ五月雨の中田に行きて
あの日の朝も静かなりけり

郡上市 田中清之

民族の垣根を越えて
人間といふ生物になりたかりけり

兵庫県神戸市 松下幸子

学校でいじめられたる子ども等を
千畝はぎゅっと抱きしめるだろう

愛知県幡豆町 谷口壽々樂

学校賞

愛知県 瀬戸高等学校
岐阜県 御高小学校
東京都 目白研心中学校

奨励賞

八百津町内小中学校優秀賞

見ないふりしている間にこわれるよ
あの子の心自分の心

八百津小五年 岩井律樹

決断を自分で決めて書き続けた
杉原さんのビザは宝物

八百津小六年 岡崎史佳

ちうねさんビザを一まいわたしたよ
いのちつなげるみらいつなげる

和知小四年 岩井柊都

君の手をにぎりしめれば花がさく
笑顔がさくよ君の笑顔が

和知小五年 大鏡祐介

あの時は気付けなかつた君の苦しみ
今のぼくなら受け止められる

錦津小六年 藤本悠輔

友だちとけんかをしてもなかなあり
いつしよにあそぶと心がぼかぼか

久田見小二年 ありがみさ

フワフワをたくさんふやせばいい気もち
いろんな人がうれしい笑顔

潮見小三年 古田凌大

銃をもつ子供達とやりたいな
やれるといいなキャッチボール

八百津中一年 高根陸也

道ばたの犬探してますのはり紙
今も無事かな心が痛む

八百津中一年 岩井文菜

自分より人の命の優先は
今にも残る八百津のほこり

八百津東部中二年 山田会菜

悪ふざけ人へ人へと伝わって
涙ぼつりと川へながれる

八百津高校一年 加藤希望